

公益財団法人豊橋文化振興財団情報誌

2013年5月—6月

プラット ニュース

vol. 1



TOYOHASHI
ARTS
THEATRE
PLAT

平田 満

芸術文化アドバイザー



新鮮な体験が、役者にも劇場スタッフにももちろん、お客さまにも待っている。

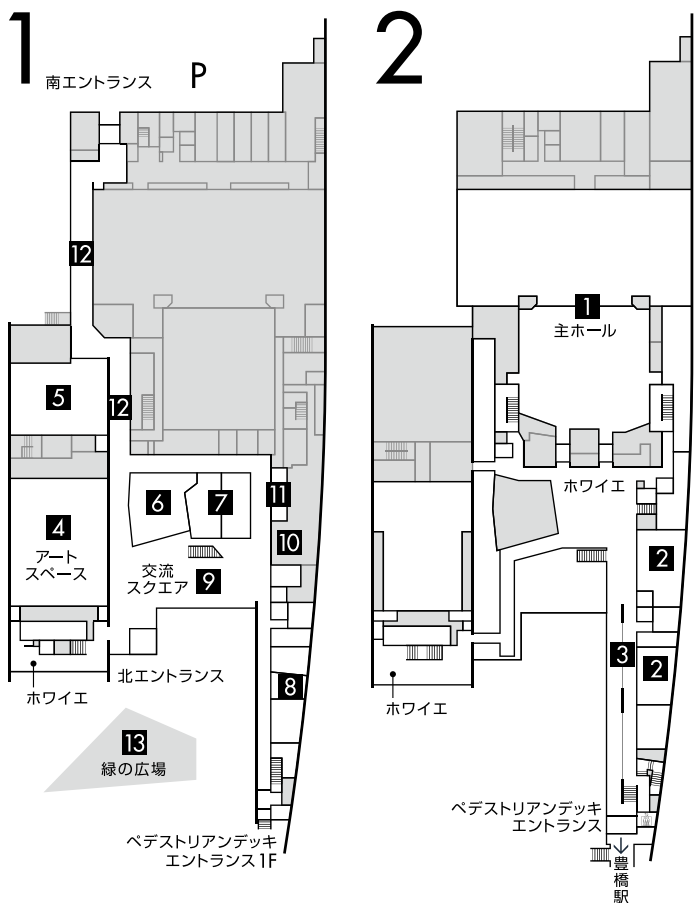
芸術文化アドバイザーに就任して3年目。いよいよPLATがオープンします。今あらためて思うのは、劇場のおおもと

にあるのは「ひと」であり、「喜び」だということです。劇場に関わる人、協力してくれる人、舞台上の人に観客席の人、

何らかの興味を持ってくれる人。あらゆる人が喜びを感じられることが一番大事で、その喜びが人と人とのつながりを広げていく。たとえ、たった一度足を運んだだけだとしても、その人の心に何かが残ると信じています。

だから、アーティストにもお客さまにも「はい、来てください」だけではなく、来館者全員に価値観や体験を共有したり、発見したりする喜びを感じてほしいと思います。豊橋に新しい劇場ができることが、「一緒に創る」ことにつながれば素晴らしいですね。正直何が起きるかわかりませんが、新鮮な体験を楽しみ、面白がっていただければと思います。

6月には、PLATプロデュース作品『父よ!』をアートスペースで上演します。このこけら落とし公演で新たな小劇場に体温を吹き込み、さらにさまざまな試みにも挑戦していきたいですね。皆さんと一緒にPLATを育て、質のよい、後に残る芸術を生み出し、全国に発信していけたら最高です。



- 1 主ホール
- 2 研修室
- 3 メインギャラリー
- 4 アートスペース
- 5 創造活動室 A
- 6 創造活動室 B
- 7 創造活動室 C, D
- 8 創造活動室 E, F, G
- 9 交流スクエア
- 10 チケット & インフォメーション
- 11 託児室・授乳室
- 12 アートギャラリー
- 13 緑の広場

劇場データ=主ホール:最大778席。プロや市民の舞台芸術の創造のために、“良質な劇場空間”を整えたホールです。出演者の「生の声」、さらには「熱気」や「緊張感」が客席に“自然に伝わる”ことを配慮した親密感のある空間です。アートスペース:最大266席の長方形の空間です。平土間から擬似的なプロセニウム形式まで、必要に応じて客席と舞台の設定が変更できます。創造活動室 A~G:小規模な公演や発表も可能なA・B、アコースティックな音楽練習に適したC・D、バンド練習室としてのE・F・Gが用意されています。研修室:大・小2つの研修・展示室が用意されています。

穂の国とよはし芸術劇場PLAT
Tel: 0532(39)8810 [劇場代表]
<http://toyohashi-at.jp>

豊橋駅 (JR東海道新幹線・東海道本線・名古屋鉄道)、新豊橋駅 (豊橋鉄道渥美線) 直結。豊橋駅南口から徒歩3分。 ※駐車場はありません。公共交通機関、お近くの公共駐車場等をご利用下さい。



豊橋市長 佐原光一



豊橋発の文化に向けて 市民が育ち、育てるPLATを

観る、感じる、 そして表現する劇場

—— 昨年11月の所信表明で、「PLATを中心に豊橋発の文化を育てる」と、抱負を述べていらっしゃいます。完成したPLATをご覧になって、どんなことをお感じでしょうか。

市長●館内を歩いて感じたことを一言で言えば、「面白そうだな」。東海地方にも著名なホールはいろいろありますが、外観はもちろん、空間のつくり方が他館とは全然違う。棲み分けができるというか、それぞれの個性を活かした芸術が生まれ、融合する手ごたえを感じました。そのためにも、本当にいいものをつくりと上演したいし、また、私たち市民自身もいいものを創っていくステップを積み上げていきたいですね。すでに、舞台裏を体験する劇場ツアーやゲネプロ（公演前日のリハーサル）を公開するといった企画が検討されているようですが、「劇場って、どういうものかな」というところから始めて、いい劇場で気持ちよく観る、そして、舞台上の役者さんや演奏家の方々が思う存分力を発揮できる、そういう一体感ある空間を、ほかならぬ私たちが創っていく。「面白そう」には、それができる、触発される

劇場だということが、まず、ありますね。

—— ほかに、「面白そう」はありますか。
市長●観るだけではなくて、自分たちが表現するということでも、イメージがどんどん湧いてきました。たとえば7つある創造活動室。実は私、親父バンドの幽霊会員なので、私なら、みんなと密かに外と遮断された部屋で練習して、うまくなったらガラス張りの、外から見える活動室でやってみたいなど。もちろん、室内楽のコンサートもできるし、ワークショップも、高校の演劇部の練習も発表もできる。小劇場の空間に早変わりも可能です。一度はご覧いただいて、その人なりの、グループなりの活用法を発見してほしいと願っています。また、スタインウェイとグロトリアンのピアノが入るので、ピアノを習っている子どもたちにはぜひとも弾き比べてもらって、楽器という芸術も体感してほしいですね。

もう一つ、ぜひ市民の皆様理解していただきたいのは、なぜパントリーを作ったのかということです。たとえば、豊橋の野菜や果物を使ったPLATだけのカクテルを作って、幕間に楽しんでいただくとか。PLAT発の豊橋名物を生み出したいという、そんな夢を皆さんで共有して育てていきたい。もちろん、主ホールとアートスペースを中心とする演劇の

ための劇場であるという、これは1本きちんと柱として据えきった上で、上質の演劇、上質の音楽を受信して刺激されながら、自分たちの人生の表現の拠点としていく。そして、アクティブに意思表示して東海地方へ、全国へと発信する。それは、わがまち豊橋を「希望と誇りにあふれたたくましいまち」に変えたいという、市長としての私の思いの原点でもあります。

人生を乗せて走る列車は、 演劇に似ている

—— ところで、市長は乗り物、とくに鉄道がお好きだとうかがっています。1階からは、渥美線のプラットホームがよく見えます。

市長●あの、廊下の突き当たりですね。初めて見たとき、パッとヘッドライトが光って、「なんだろう」と思ったら二番線ホームで、ちょっと感動しました。なにか、自分がホームに佇んでいるような、ホームがあって電車が入ってきて発車して、という風景を独り占めしたような、それこそ映画のなかにいるような気分になりましたね。ほかに引き込み線が見えるところもあるし、新幹線が走る姿も望める。もともと豊橋は鉄道マニアには欠かせないところですから、PLATは新名所にもなりそうです。

—— はい。人が行き交う駅、さまざまな人生を乗せて走る列車。演劇は、ある一つの時代を切り取って、人生や社会の息遣いが表現されるものでもあるので、この立地は、とても象徴的な気がします。
市長●その意味でも、PLATのある街自体が一つの劇場ともいえます。市民の皆さんに気軽に足を運んでいただいて、そうして演劇を、芸術を体験して、ともに育っていききたいですね。

—— まさに、市長の基本理念「ともに生き、ともにつくる」ですね。そのために私たちも努力していきたいと思います。今日は、どうもありがとうございました。

劇場は、芸術を創造し発信する拠点。 熱い想いを胸に、ともに歩いていこう。

彩の国さいたま芸術劇場 芸術監督 蜷川幸雄



穂の国とよはし芸術劇場の誕生おめでとうございます。

劇場が、市民の皆さんに支持され、熱い想いの発信基地になることを願っています。ともに頑張りましょう。

[にがわ・ゆきお]

1935年埼玉県生まれ。彩の国さいたま芸術劇場芸術監督。1969年『真情あふるる軽薄さ』で演出家デビュー。74年『ロミオとジュリエット』で大劇場の演出を手掛け、以後、日本を代表する演出家として話題作を次々と世に送り出している。83年『王女メディア』のヨーロッパ公演を皮切りに海外へも進出。各国で高い評価を得ている。2006年彩の国さいたま芸術劇場芸術監督に就任し、55歳以上を対象とした「さいたまゴールドシアター」を創設。09年には若手俳優育成プロジェクト「さいたまネクストシアター」を始動。彩の国シェイクスピアシリーズでは、シェイクスピア全作品上演計画を敢行中。2010年文化勲章受章。

神奈川芸術劇場 芸術監督 宮本亜門



あらゆる人に演劇に触れてほしい。それが、僕が演出家になった一番の理由です。僕自身ももっといろいろなことに会いたいし、いろいろな人にいろいろなことを感じてほしい。そこには必ず、「あなた」の人生に触れるものがある。

たとえば、今年PLATでも上演する予定のキッズプログラム『ピノキオ～または白雪姫の悲劇～』は、子どもたちの参加型。そこで手作り感とか、自分から接近して近くで観る喜びを体験して、「わあ、楽しかったなあ」と本当にワクワクしたら、希望や未来というものを、単なる言葉ではなく、生の人間としてバトンタッチしていくことになるんじゃないか。それは大人だって同じだし、やり方もいろいろあっていいし、劇場によっても違って来る。大切なのは、そこに住む地域の人たちと一緒に文化として育て、根付かせていくことだと思います。

今、世界的に演劇がいい意味で刺激に変化しています。枠にとらわれないさまざまな挑戦が始まっている。僕たちも、その可能性をともに開いていきましょう。

[みやもと・あもん]

演出家。1958年生まれ、東京都出身。KAAT神奈川芸術劇場・芸術監督。1987年演出家デビュー作『アイ・ガット・マーマン』で文化庁芸術祭賞を受賞。2004年NYブロードウェイで東洋人初の演出家として手がけた『太平洋序曲』が、トニー賞4部門にノミネートされる。2011年KAATのこけら落としとして、三島由紀夫原作の『金閣寺』を舞台化し、NYリンカーン・センター・フェスティバルに招へいされた。2013年9月にはオペラ演出では初となる欧州進出で、オペラ『魔笛』をオーストリア・リンツの新歌劇場で上演するなど、国際的な活動も目白押し。

世田谷パブリックシアター 芸術監督 野村萬斎



この度は、穂の国とよはし芸術劇場PLAT開館、誠にありがとうございます。公共劇場として中部地区の芸術活動の拠点になるべく、地域に根ざした活発な活動をされますことを願っております。

[のむら・まんざい]

1966年生。野村万作の長男。祖父故6世野村万蔵及び父に師事。重要無形文化財総合指定者。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外の狂言・能公演はもとより、現代劇や映画の主演、古典の技法を駆使した作品の演出など幅広く活躍。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、2012年度芸術祭優秀賞を受賞。世田谷パブリックシアター芸術監督。



彩の国シェイクスピア・シリーズ第27弾
『ヘンリー四世』

演出: 蜷川幸雄

出演: 吉田鋼太郎 / 松坂桃李 他

●日時: 5月24日[金]~26日[日]

24日18:00開演 / 25・26日13:00開演

※25日ポストトークあり

[終演の約15分後。舞台が整い次第開始]

主演俳優・吉田鋼太郎さんに再度舞台に登場していただき、翻訳者の松岡和子さんを聞き手にフォルスタッフの魅力や演じる喜びなどを語っていただきます。

●会場: PLAT主ホール

●料金: [全席指定] S席10,000円

A席7,000円 / B席5,000円

| 前売予定枚数終了 | 当日券あり

特集

ヘンリー四世

死んでもいいから、芝居をやりたい

蜷川幸雄

『ヘンリー四世』顔合わせ
舞台は人から人へ伝わるもの。

2013年3月11日 PM1:00~3:30
彩の国さいたま芸術劇場 稽古場にて

「顔合わせ」とは、演出家をはじめ俳優、スタッフが初めて勢揃いして、上演へ向けて動き出す日。3月11日、午後1時少し前、会場の稽古場には、緊張した面持ちで次々と俳優たちが入ってきます。その一人ひとりに「おっ!」などと声をかける蜷川さん。次第に室内に広がるざわめきは、開演前の劇場の興奮を思わせます。やがて1時。この日は東日本大震災から2年目。多くの失われた命を思い、まずは全員で1分間の黙とうが捧げられました。その、ピンと張りつめた空気の中かで俳優と役名が発表され、一人ひとりが順に立ち上がって挨拶を交わします。そうして場が和んだところで、「ちょっと僕に喋らせて。僕は1月に狭心症を患ってね。今、死んでもいいから芝居がやりたいんだよ、新しい構想が浮かび上がってきている。僕は新しい演出家だ。今までは壁で囲うセットが多かったけれど、それをとっぱらったオープンな舞台を生みだすんだ——」

再び、しんと静まり返る稽古場。「いつもはやらないんだけど」とおっしゃる通り、通常は、スタッフ紹介から第一回の本読み稽古に入りますが、「新しい演出家」は、その場で構想を熱く語り、俳優陣、スタッフ陣に細かな指示を出していきます。そして、「この後すぐに舞台上で立ち稽古をする。みんな、やらせてくれ」。

この一言が終わるが早いか、全員が立ち上がって一斉に劇場へ。慌ただしく衣装をつける俳優を見ては、「それじゃダメ

だ。替えて」「あっ、その色は違う」。一人ひとりの動きに、「前向いて、相手の顔見て喋る!」「だめ。そこで動くな」と、声はどんどん大きく強く、張りが出てきます。演出家の執念。そんな言葉が浮かんできます。その執念は、俳優陣へ、スタッフ陣へ伝わり燃え立たせ、さっきまで息をひそめていた舞台すらも、深い眠りから一気に目覚めたかのように躍動を始めます。舞台は人から人へ伝わるもの。観ているだけでも胸がいっぱいになる。「今日はこれで終わり。明日は本読みをちゃんと始めるから。お疲れ様」という蜷川さんの声に我に返り、あらためて、この公演を豊橋の皆さまにお届けできる喜びをかみしめました。

[取材=芸術文化プロデューサー・中島晴美]

参加者募集

プレトーク

~翻訳家に聞いてみよう~

「戯曲の翻訳をやれて、すごく幸せだと思う」松岡和子

講師の松岡和子さんは、蜷川シェイクスピアの大半、23作品の翻訳者。戯曲はすべて、その人物になって訳すそう。「だからこそ、ひとりで一役やる役者さんの読みの深さはすごいと感じる。今や、一回役者の身体を通らないうちに活字にするのは怖いです」と語ります。毎回、稽古場に何度となく足を運ぶ松岡さんならではのお話に、シェイクスピア演劇の世界がぐっと広がります。

●日時: 5月23日[木] 19:00~20:30

●会場: PLAT創造活動室A

●講師: 松岡和子 [翻訳家・演劇評論家]

●料金: 無料 [定員あり / 要・事前申込]

●申込先: プラットチケットセンター

Tel 0532(39)3090まで

シェイクスピアは難しくない。 PLAT最初の演劇で、 おおいに笑っていただきます。



フォルスタッフ役
吉田鋼太郎

平田●穂の国とよはし芸術劇場が5月にいよいよオープンします。主ホールとアートスペースは、本当にいい演劇を豊橋市民の皆さまにお届けしたいという思いで建設を進めてきました。主ホールは778席で、彩の国さいたま芸術劇場と同じぐらいの規模です。

吉田●ああ、それはいいですね。渋谷のシアターコクーンなんかもそうですけど、演じる側にも観る側にも、一番いい大きさだと思う。

平田●豊橋には、この規模は初体験という方も多いと思います。しかも、今回の『ヘンリー四世』は、原作のI部とII部を一つにしたとのことで、上演時間は4時間近くになるでしょう。これは東三河エリア全体でも初めての試みで、お客さまの反応が楽しみです。そこでまず、数々のシェイクスピア演劇に出演し、とくに蜷川シェイクスピアには欠かせない存在となっている吉田さんから、シェイクスピアの魅力をお話しいただけますか？

シェイクスピアは言葉が命

吉田●僕、一番最初に観た芝居が劇団雲の『十二夜』だったんですよ。高校2年のときに、たまたま英語の先生にチケットをもらってね。これが面白くて、それまで芝居とはまったく無縁の生活をしていましたから、もう、芝居＝シェイクスピアって刷り込まれちゃってるんですね。でも、いろんな芝居をやってくると、シェイクスピアを超えるものはなかなかないんじゃないかと思う。スケールの大きさとか人間の心の複雑さ、悲しみや喜びの大きさとか、戯曲に込められている要素がとても大きい気がする。演るのは大変ですけどね。なんかこう、大きな声を出して動かなきゃいけないし、自分でもそうしないと落ち着かない。

平田●フォルスタッフ役は2回目ですよ。

吉田●フォルスタッフは60歳ぐらいだから、その実年齢に近づいてきて彼を理解できる部分がちょっと増えているん

じゃないかっていう気はしますね。

平田●キャラクターとしてはぴったり？
吉田●大酒のみで女好きで大ボラ吹きの小心者（笑）。とにかくこれ、前半は喜劇の部分がとっても多いんですね。シェイクスピアって、どうしても少し敷居が高くて、笑っちゃいけないんじゃないかと思っていっちゃう方も多いんですけど、全然そんなことはない。今回も、お客さんを思い切り笑わせていただきますよ。シェイクスピアって難しいもんじゃないって、本当に楽しみに来てくれると、僕たちも嬉しいし、ありがたい。

平田●そうですよね。フォルスタッフも、いわば桃太郎侍。

吉田●そうそう。一応騎士だけど、あくまでも庶民代表。そして、ヘンリー4世の息子、ハル王子とは悪ガキコンビみたいな感じで、だからちょっと漫才みみたいな面白おかしいやりとりがけっこう出てくる。一方で、シェイクスピアはもう、言葉が命で、言葉をお客さまに伝えない限りは、どうにも成立しないお芝居なのでね。そこを、シェイクスピアも初めてなら、蜷川さんも初めてという松坂君とどういうふうにやっていくのかが、とても楽しみです。

演劇を軸に街を活性化させたい

平田●その『ヘンリー四世』を主ホールの本格的演劇作品として最初に上演できるのは、嬉しいですね。

吉田●平田さんとは、昨年、思いがけずフジテレビの『鍵のかかった部屋』の第7話で共演させていただいて。一緒にロケにも行って、それで今年は、奇しくも芸術文化アドバイザーと出演者。それ、平田さんの一世代下で、『蒲田行進曲』を「すごいなあ」って思って、何回も何回も観た人間にとっては、すごいことですよ。で、2009年に『海をゆく者』でも一緒に演って、やっぱり、すごいやつだつて。そして、ご自身で演出もなさるし、優れた俳優でもある。人柄はとても誠実で、思いやりにあふれている。

そういう平田さんが芸術文化アドバイザーをおやりになるというのは、僕は、すごく願ってるんですよ。今、いろいろなところに大きな劇場があるんだけど、



平田満

芸術文化アドバイザー

「穂の国とよはし芸術劇場PLAT」開館記念展示
PLATにシェイクスピアが降りてくる

ポスター & 舞台写真展

「蜷川舞台の瞬間～ギリシャ悲劇×シェイクスピア」

たとえば『タイタス・アンドロニカス』で魅せた日本の様式美がイギリスのメディアで絶賛を浴びるなど、国境を超えて人々の心に届く蜷川演劇。そのシルエットを、シェイクスピアシリーズ26作品の公演ポスターや舞台写真を中心に、海外公演の記事、ギリシャ悲劇や井上ひさし作品のシーンを交えて展示します。

●会期・会場：①4月30日～5月26日・PLATアートギャラリー
②5月13日～27日・研修室大 ●入場料：無料

展覧会

「ガラスジュエリーとシェイクスピア極小舞台」

ジュエリー作家・光島和子さんのガラスジュエリーと、舞台美術家・松岡泉さんのボックスアートが一つになって紡ぎだされるシェイクスピアの世界。登場人物たちの魂がアートとなって、あなたに囁きかけます。

ジュエリー：光島和子 [ジュエリー作家]

ボックスアート：松岡 泉 [舞台美術家]

●会期：5月21日～25日 ●会場：研修室小 ●入場料：無料

光島和子さんと翻訳家・松岡和子さんによるトーク

●日時：5月24日 [金] 13:00～14:00

●会場：PLAT創造活動室A

●参加料：無料 [定員あり / 要・事前申込]

●申込先：プラトチケットセンター Tel 0532 (39) 3090

協賛：公益財団法人大林財団

そこで何を上演するのが大切で、東京で発信されたものを持ってくるのもあるし、そこでまた、生まれてくるものもある。平田さんなら、演劇を軸に、街をどんどん活性化させてくださるんじゃないかと、期待しています。

平田●なんだか、立場が逆になっちゃいましたが(笑)、期待に応えたいと思います。今日はどうもありがとうございました。

撮影：松崎浩之

ハル王子として生きる。

舞台は朗読劇を含めてやっと3本目です。シェイクスピアも、『ヘンリー四世』の時代背景も、僕には馴染みがないので、台本をいただいたときにはなんて難しいんだろうって思いましたね。しかも、蜷川さんの舞台でしょう。もう緊張して、最初のうちは内心震えてガタガタでした。でも、稽古が始まる前ですが、ポスター撮影で初めて衣装を着てカメラの前に立ったときには、自分のなかでスイッチが入るのを感じました。

蜷川さんはとても優しく、愛情があふれているのが伝わってきます。僕がコンビを組むフォルスタッフ役の吉田さんは気さくで豪快な方。今も緊張はしていますが、この舞台で、思い切り自分をさらけ出そう、それは、もう一歩先の、まだ自分が出会っていない自分に出会えると予感しています。そのためにも、稽古と同時進行で当時の歴史や、ハル王子が周りの人とどういう関係性にあるのかを勉強して、自分の身体に馴染ませてい

きたい。
豊橋は、PLATの主ホール初の本格的演劇公演です。そういう、新しい劇場が動き出す歴史的な場面で舞台に立てるのは、とても光栄で嬉しい。公演の最終の地でもあるので、埼玉公演で熟成した

『ヘンリー四世』を、さらに育てたものをお届けしたい、劇場に足を運んでくださる皆さんをガッカリさせないためにも、期待を裏切らない舞台にしたいと思っています。そのなかで僕は、ハル王子として生きています。

松坂桃李

ハル王子役



5/3 FRI

高座開き

「立川志の輔独演会」

- 日時=5月3日[金・祝] 14:30開演
- 会場=PLAT主ホール ●料金=[全席指定]一般4,000円

当日券あり

前売予定枚数終了

5/5 SUN

穂の国とよはし芸術劇場オープン記念スペシャル公演 コンドルズ「GRANDSLAM」

超弩級の歓喜を君に!
コンドルズ史上最強
シーン大集結!全弾祝砲!
奇跡のベスト版



- 日時=5月5日[日] 15:00開演
- 会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定]一般5,000円

好評発売中

5/24 FRI—26 SUN

彩の国シェイクスピア・シリーズ第27弾 『ヘンリー四世』

- 演出=蜷川幸雄
- 出演=吉田鋼太郎/松坂桃李
木場勝己/立石涼子/辻 萬長/瑠川哲朗 他
- 日時=5月24日[金]—26日[日]
24日18:00開演/25・26日13:00開演
※23日プレトークあり[詳細はP5をご覧ください]
※25日ポストトークあり[終演の約15分後。舞台が整い次第開始]
- 会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定] S席10,000円/A席7,000円
B席5,000円

当日券あり

前売予定枚数終了

5/9 THU

ライブビューイング『おのれナポレオン』

演出=三谷幸喜 出演=野田秀樹/天海祐希
野田秀樹×三谷幸喜 日本演劇界二大トップランナー
空前絶後の舞台初タッグ。豪華実力派キャストによる話題作を、完全生中継で豊橋でも楽しめる!

- 日時=5月9日[木] 19:00開演
- 会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定] 一般3,000円
会員2,000円(プラットフレンズ・財団維持会員)

好評発売中

緊急決定!

PICK UP!



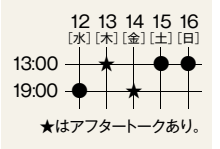
6/12 WED—16 SUN

穂の国とよはし芸術劇場プロデュース

「父よ!」

何を思って集まる男たち。息子たちと「父」と一人の女。
黄昏の四兄弟に明日はあるのか?

- 作・演出=田村孝裕
- 出演=平田 満/ベンガル/徳井 優
花王おさむ/井上加奈子
- 日時=6月12日[水]—16日[日]
- 会場=PLATアートスペース
- 料金=[全席指定]一般3,600円



PLATアートスペースこけら落とし公演! 小劇場の宇宙を豊橋へ—芸術文化アドバイザー の平田 満とベテラン俳優陣で贈る贅沢な舞台。 6月12日~16日 豊橋初の5日間連続公演

表現者の魂と観客の魂が小劇場という密度の濃い空間で共振する。その感動を共有したいと、2年前から豊橋駅前文化ホールを劇場にして『ゆすり』『罪』『家の内臓』をお届けしてきた芸術文化アドバイザー・平田満と穂の国とよはし芸術劇場が、満を持して企画・プロデュースしたのがこの作品。いうまでもなく、PLATの小劇場「アートスペース」のこけら落とし公演です。

今回は、作・演出に若手の田村孝裕さんを迎えた、家族の物語の第4弾。男ばかり4人の、微妙な年頃、つまりオジサンの兄弟が、父親の面倒を見る見ないという、よくある話から始まります。先行3作品をご覧になった方も、小劇場は初めてという方も、ぜひ足を運んで、ステージと客席が一つになる瞬間を堪能してください。日頃、テレビ画面を通して見る平田の「ナマ顔」に出会えるのも、楽しみの一つです。

田村孝裕 [作・演出] ●1976年生まれ。東京都出身。2005年、劇団「ONEOR8(ワン・オア・エイト)」公演のために書き下ろした『ゼブラ』が岸田戯曲賞候補になり注目を集める。10年『絶滅のトリ』で再び岸田戯曲賞候補に。テレビドラマ「モンスターペアレンツ」「傍聴マニア09」の他、映画シナリオも執筆。

チケットの購入・お問合せは

- プラットチケットセンター [会員先行・一般発売]
- Web = <http://toyohashi-at.jp>
ホームページから24時間いつでも予約可能です。
※メールアドレスの登録が必要です。
 - Tel = 0532(39)3090
 - 窓口 [5/1から] = 穂の国とよはし芸術劇場
Tickets & Informationカウンター
受付時間 [Tel・窓口] 10:00~19:00 (休館日をのぞく)

U24・高校生以下割引のご案内

- 若い人にこそ生の舞台を楽しんでもらいたいから、
ほぼすべての公演に割引料金を設定しています。
- 料金 = U24 [24歳以下対象]: 公演ごとに指定する席種の半額
高校生以下割引: 一律1,000円
 - 購入方法 = 各公演の一般発売初日から窓口にて取扱い。
※一部公演はWeb・電話でもご予約が可能です。
 - その他 = 本人のみ1公演につき1人1枚。枚数限定。
座席の指定はできません。要・入場時身分証明書提示。

PICK
UP!



6/15 SAT

好評発売中

新国立劇場制作 平山素子「フランス印象派ダンス」 Trip Triptych トリップ・トリプティック

音楽 — ラヴェル [ボレロ] / ドビュッシー [弦楽四重奏曲]
サティ [官僚的なソナチネ] 他

- 日時 = 6月15日 [土] 15:30開演 ● 会場 = PLAT主ホール
- 料金 = [全席指定] 一般4,000円

五感を震わせる未知なる体験

ドビュッシー、ラヴェル、サティという3人のフランス印象派の作曲家による音楽を用いて創り出す新たな世界——。これまでも新国立劇場ダンス公演の代表作となる作品を数々発表してきた平山素子の新作が、PLATにやってきます。「人間の肉体」というものが芸術そのものになる瞬間、平山を中心に、ダンス界をリードする精鋭たちの頭の先からつま先まで、PLATならではの臨場感あふれる空間でぜひ体感してください。

平山素子 ● 愛知県出身。新国立劇場公演では、07年『Life Casting 一型取られる生命—』にて朝日舞台芸術賞、08年『春の祭典』にて芸術選奨文部科学大臣新人賞、江口隆哉賞受賞。また、シンクロナイズドスイミングやフィギュアスケートの日本代表選手指導にも携わるなど、その活動は多岐にわたる。筑波大学人間総合科学研究科准教授。



6/30 SUN

好評発売中

浮ヶ谷孝夫指揮 名古屋フィルハーモニー交響楽団「英雄」

- 日時 = 6月30日 [日] 16:00開演 ● 会場 = アイブラザ豊橋
- 指揮 = 浮ヶ谷孝夫 ● フルート = 浮ヶ谷順子
- 曲目 = ベートーヴェン: 交響曲第3番「英雄」
メルカダンテ: フルート協奏曲 他
- 料金 = [全席指定] S席5,000円 / A席4,000円 / B席3,000円

7/18 THU

会員先行 = 5月7日 — 12日
[申込抽選制]
一般発売 = 5月18日 10:00~

松竹大歌舞伎 市川亀治郎改め 四代目市川猿之助襲名披露

- 日時 = 7月18日 [木] 13:00開演・18:00開演 [2回公演]
- 会場 = PLAT主ホール
- 演目 = 歌舞伎十八番の内「毛抜」 / 四代目市川猿之助襲名披露
「口上」 / 三代猿之助四十八撰の内「義経千本桜」川連法眼館の場
- 料金 = [全席指定] S席10,000円 / A席7,000円 / B席5,000円

◆ 会員発売抽選申込 5月7日 [火] 10:00~12日 [日] 23:59
チケットぴあ Tel = 0570 (02) 9588
Web = <http://pia.jp/v/shochikukabuki13/>
◆ 一般発売取扱い

発売初日 チケットぴあ特電 Tel = 0570 (02) 9511 [Pコード不要]
発売日以降 チケットぴあ Tel = 0570 (02) 9999 [Pコード: 427-668]
発売日翌日以降残券があれば、プラットチケットセンターでも取扱い。

PLAT劇場ツアー

穂の国とよはし芸術劇場を巡る90分程の劇場ツアーを開催します。
普段はお見せできない劇場の裏の顔へ皆さんをご案内します。館内を歩きますので動きやすい服装・靴でご参加下さい。

- 日時 = 5月6日 [月・祝] 10:00 / 13:00 ● 会場 = PLAT
- 参加料 = 500円 ● 定員 = 各回20名 [先着制]
- 申込 = 4月22日 [月] 10:00からプラットチケットセンター
Tel: 0532 (39) 3090

柴 幸男 演劇ワークショップ

8月に新作「日本の大人」をアトスペースで上演する劇団ままごと主宰・岸田戯曲賞受賞劇作家の柴 幸男による演劇ワークショップを開催します。

- 日時 = 6月1日 [土]・2日 [日] 13:00~17:00 予定
- 会場 = PLAT 創造活動室A ● 講師 = 柴 幸男 [ままごと]
- 対象 = 中学生以上の演劇に興味のある方 ● 参加料 = 1,000円
- 定員 = 各日16名 [応募多数の場合は選考]
- 申込 = 専用の申込用紙でお申込みください。劇場HPからダウンロード可。
- 締切 = 5月7日 [火] 17時必着

ホワイエ ON PAPER

出演者100人、観客600人、豊橋の市民が大集合！ 5月1日PLATグランドオープンに向けて 主ホール完全リハーサル



PLATグランドオープンに向けた「音響テストコンサート」が3月17日、主ホールで行われました。ステージに豊橋交響楽団、男声合唱団「ふんけんクラブ」、豊橋在住のピアノニスト・野畑さおりさんの総勢100人、客席に市民の皆さん600人。休憩時には、テストオープンした「PLATカフェ・こすたりか」がホワイエに出張もするなど、本番さながらのリハーサルです。演奏終了後、「演劇向けのホールですがそれをカバーするために仮設の反響板を用意してくださるなど、演奏者のことを考えるスタッフの皆さんの姿勢が伝わってきました」と野畑さん。出演者にも観客にも最高の環境に育てたいと願うPLATには何よりの言葉です。記念すべきオープニングイヤーの今年、皆さん、ぜひ一度、足を運んでください。

一足お先に楽しみました！
～参加者の感想をご紹介します～

●出演者

下谷剛嗣さん [指揮]：雰囲気非常に素晴らしい。演劇向けですが音がこもらないので、演奏する側もいろいろ試して工夫して、このホールの本当の音の良さを出していきたいですね。クロークは、とくに冬にはぜひ使ってほしいですね。コートなどを

客席に持ち込むと、どうしても音が吸収されるんです。

長谷川順子さん [トロンボーン]：創造活動室の窓が大きく開放的で、とても気分よく練習できました。



高木伸江さん [オーボエ]：金管楽器などにはちょうどよい響き。演劇フェスティバルなど特徴ある企画で、遠くからも豊橋に来てくれるようになるといいですね。

●お客さま

植田真人さん：自分もパーカッションを演奏しますが、ここの劇場は音がダイレクトに伝わってくるので、向いているかも。

山田志乃生さん／希さん：お芝居が好き。だから、客席と舞台の距離感が嬉しい。

田中由佳さん：豊橋はあまり文化に力を入れていない印象だったので、こんな素敵なホールができるとは思わなかった。創造活動室も綺麗。有名の方が来るようになると、豊橋への集客力も上がると思います。

ビールもワインも楽しんで。
1F「PLATカフェ・こすたりか」もオープン



●スタッフ：なんとと言ってもイタリア製のコーヒーマシン、地元の牛乳を使ったソフトクリームが売り！ビールやワインも用意して、イタリアのバルスタイルの立ち飲み屋を、ぜひ根付かせたいですね。季節や演目によってスパークリングワインを出すなど、今日のリハーサルでどんどん新しいアイデアが湧いてきました。

●お客さま：休憩時間に飲み物が楽しめるなんて素敵です。コーヒーも美味しかった！カフェのあるロビーも開放的でリラックスできそうです。これからいつもここでコーヒーが飲めると思うと楽しみです。



PLATカフェ・こすたりか 営業案内

- 場所＝PLAT 1F
- 営業時間＝9:00～22:00
- メニュー＝コーヒー(S) 250円 (M) 300円 / カプチーノ350円 / オレンジジュース350円 / ビール500円 / グラスワイン500円 / ソフトクリーム300円 他

※公演がないときは、営業時間が変更される場合があります。

<p>株式会社 三宝堂印刷所</p> <p>電話 五三六一六四一 ファックス 五三六一六四一</p>	<p>本 の 豊 川 堂</p> <p>アルミ ビル 店 五五二八〇番 店 五五二八〇番 店 五四一六三番</p>	<p>代表取締役 竹尾 誠 株式会社 竹尾建築設計事務所 豊橋事務所 / 豊橋市平川町91-2 〒440-0065 Phone:0532-62-1331 (代) Fax:0532-62-1332 浜松事務所 / 浜松市東区流通元町13 〒435-0007 Phone:053-422-3628 (代)</p> <p>YOSHINO ASSOCIATES architects & engineers http://www.440a.co.jp</p>	<p>伊藤 藤 院</p> <p>外科・内科・胃腸科・麻酔科・消化器科・呼吸器科</p> <p>豊橋市小池町字原下三三五 電話四五二二八三番代</p>	<p>看板広告 アラキスタヂオ</p> <p>豊橋市上伝馬町十六 電話 五五八六番</p>	<p>医療法人 慈 豊会 大島整形外科クリニック</p> <p>理事長 大島 照夫 院長 大島 敬 東田町井原三九の七(市電赤岩口終点前) 電話 六二一五五一番(代)</p>	<p>医療法人 赤岩病院</p> <p>電話 六二二〇五番</p>	<p>YMバレエ カンパニー</p> <p>電話 六一三二六番</p>	<p>有限会社 魚 伊</p> <p>電話 52-5256</p> <p>本と文具なら 精文館書店 TEL.54-2345</p>
--	---	---	---	---	---	-----------------------------------	---	---

プラットフォーム募集中 [入会金・年会費無料] お得な3つの特典

**特典
1**

公演情報をご案内

定期的に公演情報の提供を行います。穂の国とよはし芸術劇場PLATやその他の会場で行う豊橋文化振興財団の主催公演を初めとする豊橋市内のイベント情報などを電子メールにより無料でご案内いたします。

※広報誌の郵送は行いません。郵送で公演情報をご希望の方は、豊橋文化振興財団維持会員への入会をご検討下さい。

**特典
2**

**インターネットでの
チケット予約が簡単・便利**

パソコンと携帯を使って豊橋文化振興財団が主催する公演等のチケットを予約・購入できます。24時間いつでも予約ができ、クレジットカードを使ってお支払いできるほか、セブン-イレブン店頭で、精算・チケットの受取ができます。

**特典
3**

チケット先行予約など

人気チケットの先行予約や、イベントへのご招待など様々なサービス・イベントを展開していきます。

登録方法

●WEBで登録 [穂の国とよはし芸術劇場HP]
<http://toyohashi-at.jp>

●携帯で登録
<https://piagettii.e-get.jp/online-ticket/de/>

●窓口で登録 [5/1から]

**穂の国とよはし芸術劇場
Tickets&Informationカウンター**



豊橋文化振興財団ご支援のお願い

豊橋文化振興財団では、財団の目的及び事業に賛同し財政のおよび文化事業参加を通じて、財団の活動を支援して下さる維持会員を募集しています。維持会員の皆さまには、広報誌(隔月発行)をご自宅へ郵送させていただきます。また、プラットフォームと同等の特典を受けることができます。

※現在、当財団の公益財団法人への移行に伴い、会費が寄付金としての税制上の優遇措置適用となることを目指しております。適用が決まった際には改めてご報告させていただきます。

●会員期間=平成25年4月1日から平成26年3月31日

●会費=普通個人会員3千円 / 特別個人会員1万円
特別団体会員1万円 / 特別法人会員2万円

●入会方法=穂の国とよはし芸術劇場
Tickets & Information カウンター [5/1から]

チケット購入案内

◆プラットフォームセンター [会員先行・一般発売]

Web=<http://toyohashi-at.jp> ※メールアドレスの登録が必要です。
ホームページから24時間いつでも予約可能です。

Tel=0532(39)3090

窓口 [5/1から] = 穂の国とよはし芸術劇場
Tickets & Information カウンター

受付時間 [Tel・窓口]
10:00 ~ 19:00
(休館日をのぞく)

◆その他 [一般発売・公演によって販売所は異なります]

チケットぴあ / カルミア2Fサービスセンター
ほの国百貨店6Fプレイガイド / オリент楽器豊橋店
ライフポートとよはし総合案内所 / 豊橋市役所しょうほうひろば
(注意)7/18「松竹大歌舞伎」のみ、会員先行(抽選制)、一般発売初日ともにチケットぴあのみ取扱い。

お問い合わせ 穂の国とよはし芸術劇場 〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地 Tel 0532(39)8810 [代表]
<http://toyohashi-at.jp> 開館時間=9:00~22:00 [5/1から]

**世界のニーズに応える、福井ファイバーテック。
繊維に秘められた、無限の可能性**

穂の国とよはし芸術劇場アートの椅子には、福井ファイバーテックの技術が使われています。

<p>気まぐれコンサート 事務局 / 0532-62-9259 (小川恵司)</p>	<p>茶屋 am.10:00~pm.5:00 甘味処 抹茶・コーヒー あんみつ・豆かんてん 中岩田5丁目6の4 TEL.63-0202</p>	<p>呉服 田田中屋 </p>	<p>共和印刷株式会社 プラスチックの付加価値をお客様に提供いたします。 豊橋市小池町36番地の1 TEL 46-4613288 FAX 46-1328851</p>	<p>成田記念病院 社会医療法人 明陽会 院長 成田 真 電話 三二二一六七</p>	<p>大岩整形外科・皮フ科 整形外科・皮膚科・リウマチ科・リハビリテーション科 院長 大岩 俊久 豊橋市大橋通二丁目二五 電話 五五二一〇〇</p>	<p>高誠堂 伝統的工芸品豊橋筆 書道用品専門店 豊橋市呉服町四拾四番地 電話 五二一五五一四</p>	<p>創業文政年間 日築 ぎく宗 豊橋市新本町40 電話 52-5473番</p>	<p>広告募集</p>
---	--	----------------------------	--	---	---	--	--	-------------

PLAT CALENDAR

5 MAY

- 2 THU 茶道宗偏吉田流和有茶会 臨濟寺[豊橋市東田町]
- 3 FRI 立川志の輔独演会 PLAT主ホール
- 5 SUN コンドルズ「GRANDSLAM」 PLAT主ホール
第46回香川流舞踊会発表会 豊橋市民文化会館
月例茶会[表千家不白流] 三の丸会館
- 5 SUN—6 MON トゥーランドット全3幕 アイブラザ豊橋
- 9 THU 『おのれナポレオン』ライブビューイング PLAT主ホール
- 10 FRI 加藤訓子ソロコンサート「ライヒ〜ペルトの世界」 PLATアートスペース
第711回邦楽鑑賞会 豊橋市民文化会館
- 11 SAT 池坊豊橋支部創立70周年記念 池坊講演会 PLATアートスペース
- 12 SUN 大正琴アンサンブルハーブクィーンズ
きらめきコンサートⅢ フロイデンホール
茶道宗偏流豊橋支部流祖忘茶会 三の丸会館
- 13 MON 桂文我独演会 PLATアートスペース
- 18 SAT 『音楽朗読劇 星の王子さま』とミニコンサート PLAT主ホール
手仕事屋さち兵衛コンサート PLATアートスペース
- 19 SUN 第43回長唄演奏会 豊橋市民文化会館
One on One ピアノ・エレクトーンコンサート PLATアートスペース
- 24 FRI—26 SUN 『ヘンリー四世』 PLAT主ホール
- 25 SAT 史跡シンポジウム 古墳のまち豊橋
—私たちがみた、穂の国— PLATアートスペース
- 28 TUE—6/2 SUN 写真100展 豊橋市民文化会館

6 JUNE

- 2 SUN YMバレエ 東京シティバレエ団公演 PLAT主ホール
月例茶会[松月流] 三の丸会館
茶道宗偏吉田流和有茶会 臨濟寺[豊橋市東田町]
- 4 TUE—5 WED 豊橋演劇鑑賞会 第236回例会 加藤健一事務所
「モリー先生との火曜日」 PLAT主ホール
- 7 FRI 第712回邦楽鑑賞会 豊橋市民文化会館
- 7 FRI—9 SUN ザ・ヤングアメリカンズ アジアンツアー
2013夏 in 豊橋 PLAT主ホール
- 12 WED—16 SUN 穂の国とよはし芸術劇場プロデュース「父よ!」 PLATアートスペース
- 15 SAT 第7回世界の子どもたちへの教育・医療支援イベント
山路未来氏トーク&能への誘い ライフポートとよはし
平山素子フランス印象派ダンス Trip Triptych PLAT主ホール
- 22 SAT 志多ら全国ツアー
「蒼の大地—今、ひとつになりて、行かん—」 PLAT主ホール
- 25 TUE—30 SUN 硬筆書芸展 豊橋市民文化会館
- 29 SAT アコーディオンクラブECHO
第31回定期コンサート PLATアートスペース
- 30 SUN 浮ヶ谷孝夫指揮
名古屋フィルハーモニー交響楽団「英雄」 アイブラザ豊橋
伊藤修子ピアノリサイタル PLATアートスペース

発行＝公益財団法人豊橋文化振興財団

編集＝森 絹江

デザイン＝松吉デザイン事務所

写真[表紙]＝宮田明里

平成25年4月 発行1号 [隔月発行]

穂の国とよはし芸術劇場

TOYOHASHI ARTS THEATRE

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地

Tel 0532(39)8810[代表] <http://toyohashi-at.jp>

